

ブドウ糖製剤

処方箋医薬品^{注1)}

日本薬局方 ブドウ糖注射液

ブドウ糖注5%「NP」

GLUCOSE INJECTION

貯法：室温保存

使用期限：容器等に記載

注意：「取扱い上の注意」参照

	250mL	500mL
承認番号	22500AMX00793	22500AMX00793
薬価収載	2013年12月	2013年12月
販売開始	1992年9月	2005年11月

禁忌（次の患者には投与しないこと）

低張性脱水症の患者〔水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがある。〕

※【組成・性状】

1. 組成

販売名	ブドウ糖注5%「NP」	
容量	250mL	500mL
有効成分 (1容器中)	日本薬局方 精製ブドウ糖	
	12.5g	25g

2. 製剤の性状

性状	無色澄明の水溶性注射液
容器	プラスチックバッグ
pH	3.5~6.5
浸透圧比 (生理食塩液に対する比)	約1

【効能・効果】

- 脱水症特に水欠乏時の水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患
- 循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（GIK療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合
- 注射剤の溶解希釈剤

【用法・用量】

- 水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には、通常、成人1回5%液500~1,000mLを静脈内注射する。
- 循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（GIK療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には、通常、成人1回10~50%液20~500mLを静脈内注射する。
- 点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下とすること。
- 注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
- なお、年齢、症状により適宜増減する。

※※【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 1) カリウム欠乏傾向のある患者〔カリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。〕
- 2) 糖尿病の患者〔高血糖を生じ、症状が悪化するおそれがある。〕
- 3) 尿崩症の患者〔水・電解質に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。〕
- 4) 腎不全のある患者〔水分の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

ブドウ糖の投与速度が速い場合に急激に中止することにより、低血糖を起こすおそれがある。

3. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
大量・急速投与 ^{注2)}	電解質喪失

注2) このような症状を起こすことがあるので、慎重に投与すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

5. 適用上の注意

※※1) ゴム栓を保護しているシールを開封後は直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

2) 投与経路

皮下大量投与により、血漿中から電解質が移動して循環不全を招くおそれがあるため、皮下に投与しないこと。

3) 調製時

- (1) 他の医薬品を混注して使用する場合には、医薬品相互の物理的・化学的変化に十分注意して行うこと。
- (2) 本剤を用いて溶解・希釈する注射剤（静脈内投与用）は、ブドウ糖注射液が適切であることを確認すること。

4) 投与前

- ※※(1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること（患者の皮膚や器具消毒）。
- (2) 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。

5) 投与时

- (1) ゆっくり静脈内に投与すること。
- (2) 血管痛があらわれた場合には、注射部位を変更すること。また、場合によっては投与を中止すること。

※【有効成分に関する理化学的知見】

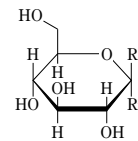
一般名：精製ブドウ糖（Purified Glucose）

化学名：D-Glucopyranose

分子式：C₆H₁₂O₆

分子量：180.16

構造式：



α-D-グルコピラノース：R'¹=H, R'²=OH

β-D-グルコピラノース：R'¹=OH, R'²=H

性状：・白色の結晶又は結晶性の粉末で、味は甘い。

・水に溶けやすく、メタノール又はエタノール（95）に溶けにくい。

注1) 注意－医師等の処方箋により使用すること

※※【取扱い上の注意】

1. 使用方法

- 1) 内容液に着色又は混濁等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- ※※2) 容器表面に水滴や結晶が付着している場合には使用しないこと。
- ※※3) 通気針は不要。
- ※※4) ゴム栓を保護しているシールがはがれているときは使用しないこと。
- ※※5) 混注する場合、注射針の刺針はゴム栓の周囲にある刺針部（凹部）を使用し、まっすぐ刺し入れること。斜めに刺すと、ゴム栓や排出口内壁の削り片が薬液中に混入したり、容器を刺通し液漏れの原因となることがある。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。
- ※※6) 輸液セットの瓶針はゴム栓の中央部の刺針部（凹部）にまっすぐ刺し入れること。
- ※※7) 容器の目盛りは目安として使用すること。
- ※※8) 本製品は、連結管（U字管）を用いたタンデム方式による投与はできないので、2バッグを同時又は連続して投与する場合は、Y字タイプの輸液セットを使用すること。

2. 安定性試験

- ※※1) ブドウ糖注5%「NP」（250mL）
最終包装製品を用いた加速試験（40℃、相対湿度75%、6カ月）の結果、ブドウ糖注5%「NP」（250mL）は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。¹⁾
- ※※2) ブドウ糖注5%「NP」（500mL）
最終包装製品を用いた加速試験（40℃、相対湿度75%、6カ月）の結果、ブドウ糖注5%「NP」（500mL）は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。²⁾

【包 装】

ブドウ糖注5%「NP」：250mL×20袋
500mL×20袋

※※【主要文献】

- ※※1) ニプロ（株）：社内資料 安定性試験（250mL）
- ※※2) ニプロ（株）：社内資料 安定性試験（500mL）

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

ニプロ株式会社 医薬品情報室
〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
☎ 0120-226-898
FAX 06-6375-0177



製造販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号